

一般社団法人はるそら

<はるそらの歩み>

2019年

4月 一般社団法人はるそら設立
おでかけイベント、美作（みまさか）大学
での講義など、本人と一緒に活動をスタートさせる

2020年

1月 webメディアなかまある「これから
会議」に出演

5月 FM岡山“Radio MOMO”出演

20年度岡山市共同事業「認知症の人と家
族の支援ニーズに関するアンケート調査」
を実施

2021年

2月 「本人ミーティング」が山陽新聞で紹介される（2月5日／3月19日／3月30日）

12月 「岡山市認知症ピアサポート事業」
を受託し、同事業スタート

2022年

3月 「認知症と診断を行った医療機関の対応等に関するアンケート」の調査研究報告

5月 RSK岡山TV出演

7月 岡山市認知症ピアサポート事業で市
政TV出演

<プロフィール>

若年期認知症の診断を受けた本人・家族が誰ともつなげられず、不安な気持ちで過ごす「空白期間」を短くしたい。仲間づくりをして、安心できる人や場所をつなげたいと立ち上げました。このレポートでは「はるそら広場」「はるそらサロン」など、種々の活動について報告します。

正会員 18名 賛助会員 10名 賛助団体 3

支援団体 岡山市、地域包括支援センター、ふれあい公社、就実大学、岡山県立大学、山陽新聞社など

ボランティア 9名

代表：多田美佳

513-0818 岡山市北区駅前町 1-10-20-2 階
電話：090-4699-9800

e-mail：harusoraegao@gmail.com

hp：https://harusora0404.amebaownd.com/

<主な活動>

はるそら広場

はるそらしゃべり場

はるそらおでかけイベント

はるそらゼミナール

はるそらサロン

認知症ピアサポート

認知症講座／講演会

調査研究

若年性認知症ではないか？ 診断を受けるべきか、でも何科に行けば……。

受診し、告知されたけれど相談窓口が分かりにくい！ 医療や介護の情報が少ない！

こうした不安な気持ちで過ごした「空白期間」。それが長引くのは、特に若年性認知症の場合、介護保険サービスへの年齢的な躊躇ちゅうちよなどが大きいと思います。また、専門職側にも“若年性”に関する知識や情報が乏しく、結局、症状がある程度進行してから医療・介護サービスにつながる人が多いのです。

若年性の方は現役で仕事をしていて体力もあります。本人の残っている機能を十分に活かす場や、高齢者とは違った支援への情報を提供することが重要です。「空白期間」にこそ、元気や希望がもらえる仲間づくりが必要で、「本人の尊厳と自立」を一緒に考える活動を重視しなければなりません。

本人だけでなく、介護する家族にも支援が必要です。

家族が元気で笑顔で過ごすことで本人も元気がもらえる。本人と家族、どちらかに偏るのではない「車の両輪のような家族関係」を整える。それがはるそらの支援です。

はるそらは2019年4月に岡山駅から徒歩10分の所に事務所を開設しました。そこは本人が一人でも通える場所です。そして、仲間と一緒に取り組める作業「くるみボタンの作成」を始めました。「電話相談」を行い、認知症講座にも積極的に参加し、講演会などで広報活動を行いました。

各地の認知症カフェ、岡山市の「こおり銀座」、倉敷市「ぶどうの家 BRANCH」、笠岡市の「オレンジドアこばなし」、鳥取県米子市の「わだや小路」などで、多くの情報をいただきました。

はるそらは若年性認知症の当事者と家族が、同じ思いの仲間と一緒に、一步を踏み出すための「作戦会議」ができる場所です。本人の尊厳と自立を大切に「はるそら広場」「はるそらサロン」など多くの活動をしています。



「はるそら広場」
本人中心で自由に話ができ「作戦会議」のできる場

活動の記録

[はるそら広場]

20年4月に「本人ミーティング」としてスタートしました。本人が中心となり、自由に話をし、医療や福祉、介護や暮らしなどの「作戦会議」のできる場として月2回開催しています。大学生との多世代交流も月1回行います。美作短期大学や就実大学での「出張・本人ミーティング」という多世代交流も始めました。地域の認知症講座や講演会にも積極的に参加し、はるそらの広報に努めました。

22年4月からは名称を「はるそら広場」に改め、作戦会議の後に“ランチ&ボーリング大会”を行うなど家族間交流も深めています。はるそら広場の活動は多方面で注目を浴び、山陽新聞などで何度も取り上げられました。



大学生との多世代交流

[はるそらしゃべり場]

2022年4月に、はるそら広場と同時にスタートしました。若年性認知症の本人を支える家族同士が自由に語り、ひとと繋がり、情報交換し、そして元気になる場です。月2回開催しています。

認知症ケア学会
地域ケア活動支援助成金活用

認知症介護家族のための

はるそらしゃべり場

参加費
500円
事前
申込必要

[日 時] 水曜第2水曜日 / 午後

[会 場] 申込み時にお伝えします

はるそらしゃべり場は、認知症のご本人同士が元気をもらえる場と同じく
 その本人を支える家族も元気になれる、人とのつながりが必要であることから
 開催しています。ここではお茶やお菓子を食べながら、ゆっくり話をする場所です。
 集まって、一緒におしゃべりしませんか？
 また、不定期でZOOMを活用したオンラインでの情報交換の場を設けています。

参加希望の方は下記連絡先にお問い合わせください

お申込み ▶ 一般社団法人 はるそら

電話 086-230-4834

メール harusoraegao@gmail.com

〒700-0023
岡山県岡山市北区駅前町
1丁目10-20
郵便ビル2階

ホームページ
はこちら

[はるそらお出かけイベント]

家族だけではなかなか行けない場所へ仲間と一緒に出かけ、楽しい時間を過ごす。こんな取り組みを行っています。

- ・美星町“中世夢が原”19年4月
- ・岡山城陶芸教室19年11月

- ・矢掛市“桃パフェ”19年8月
- ・高梁市町めぐり20年11月
- ・笠岡諸島“お魚ツアー”21年10月
- ・“木下大サーカス”22年7月

当初、年3回のお出かけを目標にしていたが新型コロナ禍で厳しい状況です。



〔はるそらゼミナール〕

認知症に関する情報や知識を専門職だけでなく、本人・家族も一緒に学ぶという取り組みです。若年性認知症支援コーディネーター、薬剤師、医療福祉コーディネーター



ーに講師に来てもらっています。

ーゼミナールの内容ー

- ・「若年性認知症コーディネーターの仕事を知りたい」20年8月
- ・「就労支援について」21年4月
- ・「薬のこと」21年11月
- ・「利用できる制度について」22年2月

〔はるそらサロン〕

週5日の開催。岡山駅から10分という便利で分かりやすい場所なので、当事者が一人で訪れ、お昼を食べたり、ゲームをしたりして過ごします。



[認知症ピアサポート事業]

岡山市の委託を受け、22年1月にスタートした「岡山市認知症ピアサポート活動支援事業」です。

認知症ピアサポートというのは本人同士が交流し、情報交換する活動です。ピアサポーター（当事者）が相談者の話を聞き、自分の体験をもとに支援を行います。

岡山市委託事業
今の想いを本人同士で話してみませんか？
ご利用は無料です！

認知症ピアサポートとは？
認知症の人同士との交流や、情報交換の場所です。ピアサポーターと一輪にこれからの暮らしについてや、不安に思っていることを話せる場です。

ピアサポーターとは？
認知症の経験を受けた当事者で、相談を希望する方の話を聞き、自分の体験をもとに支援する人のことです。

ピアサポート活動でできること

- 個別支援
(自宅、病院、コーディネーター、認知症推進員等が指定する場所で開催)
- 個別相談、訪問相談
- 交流会
(一緒にやりたいことを考えましょう！)

ピアサポーターからのメッセージ
毎月自宅に集まることで仲間も増えました。自分から言葉交わす人、話を聞ける人がいることを知り、伝えたいことも、伝えられるようになり前向きになれました。認知症という壁、相談に来た人が帰るときには笑顔になれます。帰ってみたいですが、家がどこにあることを伝えたいです。

TEL: 086-230-4834
E-MAIL: harusoraegao@gmail.com

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目10-20 勤ビル2階
電話 086-230-4834 メール harusoraegao@gmail.com

ピアサポーター派遣の流れ

利用相談 → 利用開始 → ピアサポート活動

岡山県 地域包括支援センター 医療・介護関係等
岡山県 地域包括支援センター 医療・介護関係等
ピアサポーター
ピアサポーター
ピアサポーター
ピアサポーター

専門スタッフのサポート体制

- 認知症の知識を有する「コーディネーター」を配置しております。
- 地域の各機関、行政との連携を図り、認知症になっても地域で自分らしく暮らしている環境、地域づくりを、ともにすすめていきます。

ご家族・医療機関・介護関係の方へ

- ご本人は、「認知症」と調べても難しい内容や、情報ばかりで絶望してしまうことが多いです。
- ご本人は自分の想いは話せていないと否定するのではなく、一緒にできることを話していきたいと思えます。

お問い合わせ
一般社団法人はるそら
〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目10-20 勤ビル2階
電話 086-230-4834 メール harusoraegao@gmail.com

まずはお気軽にご相談ください

[認知症講座／講演会]

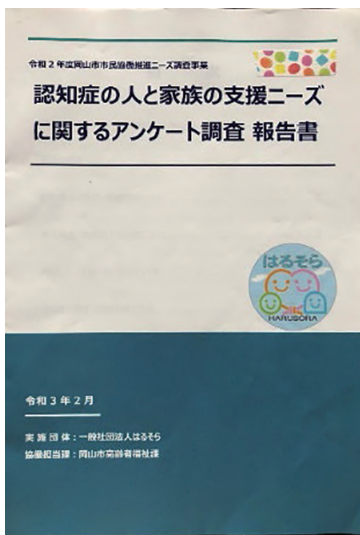
はるそらの当事者・家族、支援スタッフが中国・四国地方の各地で開催された認知症関連の会に招かれ、若年性認知症の話をしました。コロナ禍、オンラインの出演もありました。

- ・福山市認知症講演会 20年1月
- ・福山市鞆の浦交流会 20年1月
- ・倉敷市認知症カフェ交流会 20年1月
- ・広島市若年性認知症勉強会 web 20年2月
- ・認知症フォーラム in 津山 20年9月
- ・特養「長船荘」研修講座 21年4月～9月
- ・福山市認知症カフェ講演会 web 21年11月
- ・倉敷中央高校講演会 21年12月
- ・備前市認知症カフェ研修 22年1月
- ・認知症ケア学会中四国大会動画出演 22年1月
- ・笠岡市認知症フォーラム 22年5月



〔調査・研究活動〕

19年に岡山市との共同事業「認知症の人と家族の支援ニーズに関するアンケート調査」を実施しました。



■■ はるそらと新型コロナ ■■

はるそらはスタートして1年後に、新型コロナウイルス感染症パンデミックに見舞われました。

講演会などではリモート開催にチャレンジしてみましたが、本人が画面に集中できないことや、on-lineへの理解が難しい方もいて苦労しました。

対面の集まりも参加人数を減らし感染予防をしながら、中止やキャンセルはせずに、継続しました。

緊急事態宣言でお出かけイベントの開催もままならず、大学生との多世代交流も難しかったです。

